

学校評価について

1 学校評価委員からのご意見

- ・中学校より教室が狭く感じた。
- ・音楽の学習では、クラスのみんなで元気に合奏したり歌を歌ったりしていてとても素晴らしかった。
- ・学級がそれなりにまとまっているように見えた。子どもたちの授業態度も良かった。
- ・特別支援学級の在籍児童数が、ここ数年で急増している。
- ・若い先生が多いことに頼もしさを感じる。
- ・各学年、学習に励んでいる。
- ・タブレットの配付により、ICT関係に詳しくなり今後の社会で役立ちそうである。
- ・元気な子どもを見ると嬉しい。マスクをしての学習は少しかわいそうな気がする。コロナが早く収束してほしい。
- ・学校だより等で、保護者や地域に丁寧に対応して情報を共有している。
- ・児童がとても楽しそうに授業を受けている。
- ・運動会の実施がとてもありがたい。子どもも喜んでいた。
- ・コロナ罹患による職員の欠勤の対応が大変だと思う。
- ・いじめの問題では子どもと先生の理解を深めてさらに良い学校をつくってほしい。
- ・スクールサポーターは、とても良いと思う。いじめ問題に関しては、大変難しいと思うが丁寧に対応してほしい。
- ・すべての行事が行えたことをありがたく思う。
- ・いじめ防止授業は4年～6年だけではなく、全校児童対象に子どもたちが考える機会を与えてもらえたらと思う。
- ・プログラミング学習や英語学習にも力を入れていることがわかった。
- ▲更衣室をもっと整理した方が良い。
- ▲廊下のスチール棚を整理した方が良い。
- ▲以前に比べて挨拶をしない子どもが多くなった。昔のように皆が大きな声で挨拶ができると良い。
- ▲建物が古いので、全体的に汚れが気になる(廊下や壁など)。普段の清掃では難しいと思うので、ボランティア等による清掃が必要ではないかと思う。
- ▲水筒を床に置いていたり机の上に置いていたり統一されていないので、統一した方が良い。
- ▲防犯面を強化すると良い。

2 評価を受けて

全国学力・学習状況調査の結果から、鱈ヶ崎小学校の児童は国語、算数、理科の「知識・理解」「思考・判断・表現」の全ての領域において、全国平均よりも正答率が高いことが明らかになっています。今後、更なる向上のためには「基礎基本」の徹底・定着が必要です。タブレットを活用し、各自の課題に合わせた学習を進めていきます。今年度も学習サポートの職員とチームを組んできめ細かな指導を行って来ました。次年度も、児童が学習内容を確実に身に付けられるよう取組を進めていきます。また、食育の推進・学校給食の充実や健康体力づくり、読書活動では高い評価をいただきました。栄養教諭や養護教諭による指導や、本年度4年生が総合的な学習の時間で行った「残菜0運動」、全校で取り組んだ持久走、読書ビンゴなどの成果だと捉えています。

あいさつは、過去数年の学校評価でも年々できなくなってきたことが課題として挙げられています。生活の基本となる大切な行為であることから、引き続き学校全体で問題意識をもち、あいさつに対する意識改革を行っていきます。ご家庭でもご協力をお願いいたします。

ホームページが効果的に活用されていないという声を多くいただきました。次年度は、更に在校生のページの充実を図るなど、ホームページの活用を改善し情報発信をさらに努めていきます。また、校舎の修理、営繕については教育委員会と今後も連携しながら改善に努めていきます。廊下や階段の黒ずみに関しては、職員作業で掃除したり階段の白線を引き直したりしたのですが、すぐに黒くくすんでしまいます。今年度は、本校の備品としてポリッシャーを購入しました。今後は、ボランティアの方々に依頼をしたり、清掃業者の活用も検討していきます。

また、保護者の皆様から大きな課題として挙げられた「キャリア教育の充実」や「学校の特色を生かす教育の充実」ですが、他者や社会との関わりの中で、家庭や地域の方々など地域社会の一員として様々な役割を担いながら生きていることを、子どもたちが実感することができる機会を充実させることが求められていると捉えています。鱈ヶ崎小学校の強味である地域と連携をし、子どもたちの体験の状況や興味・関心、子ども達や保護者の皆様の希望などを把握して実施内容を検討し充実させていきます。